

生活科の実践

札幌市

生活科

2年

素材を限定し、遊びを高める

みんなで楽しくあそんじゃお

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>
この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

牛乳パックの形状や材質に着目して、室内遊びを考えていました。自分での遊びにたっぷりと浸ったあと、お互いの遊びを交流し遊んでみる中で、みんなで遊ぶ楽しさをじっかんしていきました。遊びを全校に広げる姿もられました。

学習活動の流れ (20 時間)

牛乳パックという素材にたっぷりとひたらせる中で、素材のよさに気付かせました。

遊びのよさに着目させ、その理由を大事に遊びを広げました。

いろいろな人とかかわり、相手の気持ちを考える大切さを実感しました。

自分で遊びをつかってあそんじゃおう！(6)

- ・自分たちで遊びを作ろう
- ・牛乳パックだけで遊んでみよう
- ・様々な道具を使って遊びを作ってみよう
- ・様々な材料も組み合わせて遊びを作ってみよう

みんなと遊びをやってみよう(2)

- ・遊びに名前をつけよう
- ・わかりやすいルールや遊びにしよう
- ・友達の遊びのよいところを見つけよう

自分の遊びをもっと楽しくしよう(3)

- ・友達のよさを生かしてみよう
- ・もっとわかりやすいルールを考えよう

ぼくらの遊びを紹介しよう(6)

- ・全校のみんなにあそんでもらおう
- ・1年生を招待してあげよう
- ・お家の人にも遊んでもらおう

気付きの質に着目した実践です。
単元を始める前に、遊びの素材は何
がいいかということを十分吟味しま
した。また教師のかかわりの手立て
として、日記を書かせていきました。



何ができた？

教材・活動の Point!



1. 牛乳パックの魅力

単元を始める前に、素材を吟味しました。様々な素材で試作を行った中から、牛乳パックで遊ばせることに決めました。身近で収集しやすい、繰り返しかかわることができる、加工しやすく工夫しやすいという理由からです。適度に抵抗感もあり、子どもにとって魅力的な素材になりました。

2. 相手のよさをみつけることで

本単元では、相手のよさを見付けることで自分のよさに気付いたり、相手のよさを自分の遊びに行かしたりといった気付きの質の高まりに取り組みました。また自分のよさが認められることによる満足感も大切にしています。



3. より豊かな表現をさせるために！

より豊かな表現ができるようにするために、授業の最後に毎回日記を書いていきました。「なぜなら～だから」といった言葉に着目して書かせ、そこに教師がコメントを加えるなど、適切にかかわることで自分の活動をふりかえることができ、気付きの質が高まっていきました。

